平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード 4-3-2 事業名 救急業務高度化推進事業 担 当 消防局警防部救急課 今川 736-1238 体 画 救急救命士の処置範囲の拡大に伴い、救急現場において <年度別の事業内容> 気管挿管や薬剤投与ができる救急救命士を養成する。 【平成19年度】 1 気管挿管・薬剤投与研修および実習体制の整備 1 気管挿管・薬剤投与研修および実習体制の整備 気管挿管・薬剤投与関係資器材の整備 気管挿管・薬剤投与関係資器材の整備 |3 医師と救急救命士が行う指示システムの強化 3 医師と救急救命士が行う指示システムの強化 【平成20~22年度】 業 1 気管挿管・薬剤投与研修および実習体制の整備 2 気管挿管・薬剤投与関係資器材の整備 内 容 平成19年度事業内容(決算) 平成20年度事業内容(予算) 救急救命士が行う救急救命処置拡大による救急業務の充実 救急救命士が行う救急救命処置拡大による救急業務の充実 を図った。 を図る。 1 救急救命処置拡大に伴う追加講習を継続実施した。 1 救急救命処置拡大に伴う追加講習を継続実施する。 (気管挿管病院実習、気管挿管・薬剤投与講習) (気管挿管病院実習、気管挿管・薬剤投与講習) 容 2 救急救命処置拡大に伴う医療器材及び薬剤等を配置し 2 救急救命処置拡大に伴う医療器材及び薬剤等を配置す た。 る。 (気管挿管資器材、薬剤の配置) (気管挿管資器材、薬剤の配置) 医師と救急救命士が行う指示システムの強化を図った。 (市立札幌病院救命救急センター、札幌医科大学附属病 場 院高度救命救急センター) 所 規 模 数 等 達成目標の状況 18年度末 19年度末 20年度末 21年度末 22年度末 22年度末 頂 目 状) (現 (実 績) (予 定) (予 定) (予 定) (目 気管挿管可能救急救命士数 36人 51人 66人 81人 96人 92人 薬剤投与可能救急救命士数 81人 123人 163人 183人 183人 183人 市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況) 市民との連携、市民参加

企業等との連携・協働

[資金協力]

[人材協力]

[情報協力]

[その他の協力]

市民・企業等が参加しやすい環境づくり

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)(単位:千円)

											(—	<u>137 · 1 1 J / </u>
計画体系コード	4-3-2			事業名	救急	業務高	度化护	推進事業	業			
	評 価	(成り	艮)	-				課	題	<u> </u>		
救急業務の高度											こめには、	救急業務
図られ、安全で安/	いな日常の	春らしの唯	ほに繋かる	0	の旨	5度化に	固止に刃	応してい	〈少安	かめる。		
		•	今 後	の事	業の	予定	・方	向			•	•

気管挿管及び薬剤投与など高度救急救命処置が実施可能な救急救命士を継続して計画的に養成するとともに、実施体制の整備を図る。

						事	業 費 <i>0</i> .) 推	移		
	項 目					19年度	20年度		21年度	22年度	計
計画		事 業 費			費	40,500	50,514		33,951	25,035	150,000
		財	国·	・道支		0		0	0	0	0
	画	源	市		債	0		0	0	0	0
		内	そ	の	他	4,175	12,6	325	10,100	7,575	34,475
		訳	—	般財		36,325	37,8	389	23,851	17,460	115,525
	算	事		業	費	40,500	38,0	000	-	-	78,500
		財	国·	・道支	出金	0		0			0
予		源	市		債	0		0			0
		内	そ	0	他	4,175	12,6				16,800
		訳	_	般販		36,325	25,3	375			61,700
	績	事 業 費		38,344		-	-	-	38,344		
		財	国·	・道支		0					0
実		源	市		債	0					0
		内	そ	0	他	17,310					17,310
		訳	—	般則	力 源	21,034					21,034
事	業	費	の	進捗	率	(19年度実績事	業費 + 20年	度予算	事業費)/(計	一事業費	50.9%

計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)

(全体)

[19年度]

計画どおり予算化、事業を実施。

[20年度]

ほぼ計画通り予算化。